

2021年10月12日
記者発表資料
文化スポーツ振興部国際版画美術館
副館長 鈴木
電話 042-726-2771

パリで「浮世絵にみる子どもたちの文明開化」（仮称）展を開催します

2022年3月30日から5月21日まで、フランス・パリにある独立行政法人国際交流基金パリ日本文化会館にて「浮世絵にみる子どもたちの文明開化」（仮称）展を開催します。この展覧会は、市立国際版画美術館とパリ日本文化会館との共同主催で、明治期の「子ども浮世絵」を紹介するものです。

「子ども浮世絵」とは、子どものために作られたおもちゃ絵や教育錦絵、また子どもが描かれた浮世絵を指し、当時の子ども文化を伝える貴重な資料として研究が進んでいます。本展では、2017年度に当館が実施した展覧会「明治維新から150年 浮世絵にみる子どもたちの文明開化」展の内容をベースに、フランスの鑑賞者へ向けて構成を改め、西洋文化との出会いにより近代化していく時代の空気や、その中で変化してゆく子どもたちの学びと遊びの文化を詳細に紹介します。

フランスで明治期の「子ども浮世絵」を紹介する初めての大規模な展覧会となる本展では、当館所蔵の約90点の浮世絵・書籍に加え、長年子ども浮世絵の収集・研究活動を行う公文教育研究会から出品協力を得て、合計約140点を公開する予定です（出品作品の一部は裏面参照）。色鮮やかな浮世絵を通し、明治期の日本の子ども文化を身近に感じていただく機会とします。

- 展覧会名：「浮世絵にみる子どもたちの文明開化」（仮称）展
- 会 期：2022年3月30日～5月21日
- 会 場：パリ日本文化会館（Maison de la culture du Japon à Paris）展示ホール
（所在地：101bis quai Branly 75015 Paris France）
- 主 催：独立行政法人国際交流基金パリ日本文化会館、市立国際版画美術館
- 特別協力：公文教育研究会
- 企画構成：市立国際版画美術館

【パリ日本文化会館について】

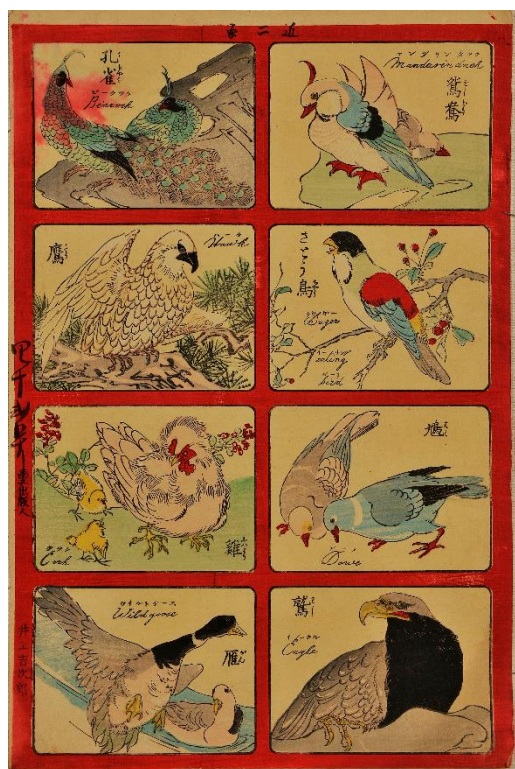
独立行政法人国際交流基金のフランスにおける拠点として1997年に開館。我が国が海外に有する最大規模の文化施設として、民間の協力も得て、展覧会、公演、映画、講演会、図書館、日本語事業、ワークショップ、教室等種々の事業を通じて日本文化を紹介し、日仏の出会いの場となっています。

【出品作品】



文明開化により洋服の着用が普及する様子

楊洲周延「吾妻はし あつま樓 庭園の春景」明治 22 年（1889）、市立国際版画美術館蔵



鳥の名前が日本語と英語で
書かれた学習教材

二代歌川国麿「とりづくし」
明治期、市立国際版画美術館蔵



子どもたちに人気の昔ばなし
「金太郎」

月岡芳年「月百姿 金時山の月」
明治 23 年（1890）、市立国際版画美術館蔵